

日本小児外科学会

令和 6 年度第 6 回定例理事会

日 時：令和 7 年 6 月 4 日（水） 11：00～14：30

会 場：一橋大学一橋講堂 第 3 会場（1F 特別会議室 101-103）

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、浮山越史（理事・会長）、内田広夫（理事・次期会長）、石橋広樹、尾花和子、加治 建、田中秀明、平林 健、湊本康史、米田光宏（以上理事）、奥山宏臣、越永従道（以上監事）、田尻達郎（前会長）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務副委員長）、渡邊佳子（会長付庶務委員）、上原秀一郎（財務会計委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）柴田晶子、山崎剛司（以上事務局）

13:00～14:30

田中 潔（第 40 回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第 41 回秋季シンポジウム会長）

松浦俊治（専門医認定委員会委員長）、文野誠久（施設認定委員会委員長）、石丸哲也（専門制度庶務委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第 6 回定例理事会の議事録署名人は、湊本 康史理事・田中 秀明理事とした。
2. 令和 6 年度第 5 回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1）第 62 回学術集会について（浮山会長）

浮山会長より学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。資料に基づき、最終的な演題数は 664 演題であることが報告された。

会 期：令和 7 年 6 月 5 日（木）～6 月 7 日（土）

会 場：一橋大学一橋講堂

テーマ：天に星、地に花、人に愛～きみの想いを子どもたちのために～

2）第 63 回学術集会について（内田次期会長）

内田次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

会 期：JSPS：2026 年 6 月 11 日（木）～6 月 13 日（土）

：AAPS：2026 年 6 月 11 日（木）～6 月 12 日（金）

会 場：名古屋コンベンションホール（〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12）

テーマ：Bright Future for Children 輝く未来へ小児外科の技術を磨く

3）第 40 回秋季シンポジウムについて（田中前秋季シンポジウム会長）

田中秋季シンポジウム会長より資料に基づき収支決算が報告され、承認された。

日時：令和 6 年 10 月 26 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

4）第 41 回秋季シンポジウムについて（大植秋季シンポジウム会長）

大植次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき収支予算書と進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

5) 第 42 回秋季シンポジウムについて（澁本次期秋季シンポジウム会長）

澁本次期秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

日 時：令和 8 年 10 月 31 日（土）

会 場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

6) 第 43 回秋季シンポジウムについて（加治次々期秋季シンポジウム会長）

加治次々期秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

7) 評議員会・総会進行手順について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

8) 次期役員選任について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より、選挙結果、投票詳細が伝えられた。

また、次々期会長選挙は小野 滋先生の信任投票となり、有効投票数 189 票の内、188 票を獲得したことが報告された。次々期会長、役員選任については、社員総会で報告し、承認を得る予定であることが報告された。

9) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき名誉会員、特別会員の推戴に関する理事会内規の改正案が提案され、承認された。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、令和 6 年度収支決算報告、令和 7 年度収支予算案につき説明があり、承認された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長、松浦専門医認定委員会委員長、石丸専門医制度庶務委員会委員長より、以下の点について報告、承認された。

- ・ 機構認定専門医制度のサブスペシャリティ領域の進捗について報告された。
- ・ 施設認定について、コロナ対応として直近 4 年間の手術数を 3 で除した値で審査を行っているが、2023 年 5 月に 5 類感染症となったことを考慮し、2027 年からは直近 3 年間の手術数を元に戻すことが報告された。
- ・ 今後の小児外科指導医・学会認定施設の在り方について、機構認定サブスペシャリティ専門医に移行した場合の認定施設・教育関連施設要件・指導医の位置づけを、考案・検討していくことが報告された。
- ・ 今後の少子化による各施設の症例数減少への対応策について検討することが報告された。

(4) 機関誌委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ 本年度（2025 年、第 62 回学術集会）の JSPS 学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）について、以下の 2 論文の受賞が推薦され、承認された。また、Open Access の権利は林先生の論文とすることにした。

1 位：

筆頭著者：Atsuhisa Fukuta

所属：九州大学

論文タイトル：Splenic vein diameter/portal vein diameter ratio as a predictor of portal vein thrombosis after laparoscopic splenectomy in children

2 位

筆頭著者：Kengo Hattori

所属：高槻病院

論文タイトル：Parental Preferences for Pediatric Surgical Facility Centralization: Insights from a Discrete Choice Experiment

- ・ 投稿費/超過分費用徴収の減額に伴う投稿規定について、掲載料、超過分ともに半額に減額することが提案され、承認された。（掲載料 10,000 円→5,000 円、超過分 1 頁 15,000 円→7,500 円）
- ・ 本機関誌情報の AI 利用に関する著作権管理について、学術著作権協会へ委託することが報告され承認された。

（5）国際・広報委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・ 小児外科リクルート map について、費用は 75 万になることが報告された。
- ・ 「子ども家庭庁」のバナーについて、会員番号及びパスワードでのログイン後に Google form のページが開くように設定したことが報告された。
- ・ 「学会案内」の「定款・定款施行細則」内に、内規を掲載する予定であることが報告された。
- ・ 「UNDER 45」のバナーについて、トップページへの設置と会員番号及びパスワードでのログイン後にコンテンツが開くように設定する予定であることが報告された。

（6）保険診療委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・ 令和 6 年度委員会活動について報告された。
- ・ 令和 8 年度診療報酬改訂について、要望書類の作成を行っていることが報告された。
- ・ 医療技術評価報告書の依頼について報告され、7 月上旬に厚生労働省へ報告書を提出する予定であることが報告された

（7）教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・ 第 19 回小児内視鏡外科手術セミナーについて、2025 年 PSJM 時に開催予定であることが報告された。また、オンデマンド配信受講者に受講証発行が可能か委員会内で審議検討することが報告された。
- ・ 第 41 回卒後教育セミナー・第 20 回小児内視鏡外科手術セミナーについて、2026 年 2 月 1 日（日）に web での開催を予定していることが報告された。
- ・ 小児外科サマースクールについて、2025 年 8 月 30 日（土）に、名古屋大学で今年度同様のドライボックスシミュレーターを用いて開催することが報告された。4 月末に募集を締め切り、定員 30 名のところ、初期研修医 13 名、学生 18 名、計 31 名の応募があり 31 名全員参加とした。学生 3 名は前回と引き続き 2 回目の参加となる。プログラム内容については昨年の踏襲含め委員会内で今後詳細を検討することが報告された。

- ・ホームページ改訂進捗状況について、小児外科学会ホームページの施設リストをわかりやすく改訂することを検討し、施設情報についてのアンケート作成及び回収にて、ホームページ上に掲載する準備を行っていることが報告された。また、小児外科学会ホームページのキャリアパスを改訂することについて、小児外科に興味がある若い医師への情報ツールとするため、経歴アンケートを作成し、学会員を対象に調査を行った。データを解析し現在まとめの段階で委員会内審議していることが報告された。
- ・日本外科学会プラットフォームを利用したeラーニングシステム参加について、卒後教育セミナーの講義内容をeラーニングの形にして専門医取得の必須条件とする検討事項に向けて、教育委員会では適切な講義ビデオの準備を進めていくことが報告された。

（８）悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より資料に基づき、悪性腫瘍登録事業地区センター幹事（10 地区）から残存データの回収作業が終了したことが報告された。

（９）学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、提出された資料に基づき報告され、承認された。

- ・「小児の主膵管損傷を伴う外傷性膵損傷に関するアンケート調査」
- ・「働き方改革開始に伴った小児外科医の働き方の現状把握に関するアンケート調査」
- ・「Hirschsprung 病類縁疾患における中央病理診断の確立と臨床・病理学的解析」
- ・「新生児先天性横隔膜ヘルニアに関する全国実態調査」について、委員会での審議結果が報告され、承認された。

（10）倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

（11）データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2025 年 4 月 2 日（水）～2025 年 4 月 21 日（月）にかけて公募した 2025 年度 NCD データ（小児外科領域）利用後向き研究について、4 件の応募があったことと合わせて、審査状況について報告された。最終結果は 7 月の理事会で決定することが報告された。
- ・2023 年 9 月に提出され、2024 年 6 月 24 日の理事会にて承認された「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究の修正申請について、3 月 14 日に修正申請が提出され、3 月 26 日～4 月 11 日に合議審査が行われたことが報告され、承認された。
- ・2025 年 4 月～5 月にかけて、小児外科学会 HP 内の「学会からのお知らせ一覧」及び「データベース委員会」のページの更新作業を行ったことが報告され、承認された。

（12）小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・PALS 講習会について、開催の予定日及び概要が報告され、承認された。
- ・小児の外傷性膵損傷に関するアンケートについて、委員会メンバーで項目を厳選し、現在実施中であることが報告された。
- ・第 62 回日本小児外科学会学術集会学会の企画案が報告され、承認された。

（13）トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・トランジション実態に関するアンケート調査について、学術先進委員会からの指摘事項を検討し、設問内容を変更することが報告され、承認された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2024年4月より始まった医師の働き方改革について、ワーク・ライフ・バランス検討委員会と Under 45 ワーキンググループが協同で、小児外科医の働き方改革に関する実態把握および今後の学会としての提言に向けた基礎資料を得ることを目的としてアンケートを作成したことが報告された。また、会員個人向けアンケートに加えて、学会認定施設及び教育関連施設を対象としたアンケートも併せて実施することが提案され、承認された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・前回のリスクカリキュレータ作成（論文作成）と同様に、論文の著者を個人名とすることを認めていただく目的で、2025年4月のNCD公募研究案件に応募したことが報告された。また、その他のNCD 連絡委員会業務(audit, annual report, 術式メンテナンスなど)は通常どおり行われていることが報告された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より資料に基づき以下の点について報告があり、承認された。

- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、学会 HP へ公開したことが報告された。また、Minds 公開後評価および Minds ライブラリへの公開申請を予定していることが報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて、英文化及びダイジェスト版を作成していることが報告された。
- ・先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、統括委員会 SCOPE をブラッシュアップしていく予定であることが報告された。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき以下の点について報告があり、承認された。

- ・日本医学会 COI 管理ガイドライン COI 申告の手続きにおいて柔軟な対応とする改定案について、機関誌委員長と相談の上日本小児外科学会として賛成したことが報告された。
- ・役員・委員会委員長・委員の利益相反状況について、150 名中 140 名の報告を受けた。残る 10 名については再依頼を行っていることが報告された。
- ・役員・委員会委員長・委員の提出された利益相反の確認状況について、60 名の記載漏れ等の不備があったため、10 例の COI ありの先生方に再確認し、厳密に修正を求めることが提案され、承認された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(22) 総合調整委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻前々理事長より、日本外科学会の理事会での専門医制度の件について報告された。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より口頭で役員交代後の流れについて報告された。

10) 第 32 回日本医学会総会での合同シンポジウム企画公募通知のお願いについて（小野理事長）

小野理事長より、第 32 回日本医学会総会から、当学会との合同シンポジウム企画の立案願いがあったことが報告された。正式な依頼が届き次第、次回理事会で検討することが報告された。

4. 報告事項

1) 理事長報告（小野理事長）

(1) 国立循環器病研究センターからの通信文「研究所長・病院長就任の挨拶」を受領した。

(2) 日本集中治療医学会からの寄贈本「50 周年記念誌」を受領した。

(3) 日本専門医機構からの寄贈本「日本専門医制度概要 令和 6 年（2024 年）度版」を受領した。

(4) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター2024 年年報」を受領した。

(5) 日本医師会女性医師支援センターからの寄贈本「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」を受領した。

(6) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 4 月号」を受領した。

(7) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.418」を受領した。

(8) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 5 月号」を受領した。

(9) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2025 年度事業計画書・中期事業計画」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（小野理事長）

次回理事会は令和 7 年 6 月 7 日(土) 12:00～13:00 一橋講堂 2 階 202-203 会議室で開催する予定であることが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____